

## 基本構想原案に対する審議会意見一覧（案）

分類案の基準

## 【審議会意見候補】

班別討議である程度の合意が得られたと判断したもの

- ・ 論点が整理されているもの
- ・ 提案の理由が明確であるもの

## 【保留】

合意が得られていたか不確かなもの

## 【個人的意見等】

- 1．意見又は内容に偏りがあるもの
- 2．その他

意見数

	1班	2班
第1部：P 1～10		
審議会意見候補	4意見	12意見
保留	2意見	4意見
個人的意見等	36意見	14意見
第1部小計	42意見	30意見
第2部：P 11～21		
審議会意見候補	1意見	11意見
保留	1意見	2意見
個人的意見等	16意見	15意見
第2部小計	18意見	28意見
合計	60意見	58意見





## 【第1部】基本構想原案に対する審議会意見一覧（案）

### 第1部 - 第1章 - 2「総合計画の役割」について（2ページ）

通し 番号	記載箇所 (ページ、行番号等)	意 見	分類案	備考	結果
7	P2	川西市に働きに来ている人も含め、勤労者にもわかりやすくする工夫をしていく事が大切である。参画と協働へ向けて必要なものがあると思う。このため、声なき声を吸い上げるなど、参加のプロセスを増やす事が大切である( )	個人的意見等		
8	P2	自治会の中では一人一人の声が反映可能である( )	個人的意見等		
9	P2 写真	子どもが写っているとかイメージが伝わるような写真を載せていくべき( )	個人的意見等		
10	P2 2行目	「行政が担うまちづくり」とあるが、参画と協働にそぐわないので、「多様な主体が担うまちづくり」とすべき( )	審議会意見候補		
11	P2	行政計画の中に市民がどう動くかということは直接的には入って来ないのではないか( )	保留	上記の対立意見	

## 【第1部】基本構想原案に対する審議会意見一覧（案）

### 第1部 - 第1章 - 3「計画の名称及び構成と期間」について（3～4ページ）

通し 番号	記載箇所 (ページ、行番号等)	意 見	分類案	備考	結果
12	P3「地域別構 想に基づく地域 づくり」	第5次は地域別構想を重視しているが、市全 体としてつながるのか。そのつなげていくプロ セスを書いておく必要がある( )	個人的意見等	(事務局)第4次は市全体、第5次では学校区 としている。	
13	同上	地域別構想は誰がいつ策定するのか( )	個人的意見等		
14	同上	団体自治、住民自治の視点で、行政のほうか しくみ等を変えるところも必要である( )	個人的意見等	(事務局)第2部第5章で、行政改革、人材育 成、組織、人材等の視点で記述していく予定 である。	
15	同上	(地域分権制度は)市民主権で、地域で自治 を行うことである( )	個人的意見等		
16	P3、P4	実行性のないイメージやビジョンで固めるの ではなく、あくまでも実行性が見えるような、こ れまでと違う書き振りをすべき( )	審議会意見候補		
17	P4	図表について、総計のイメージ図がこれまで と同じでよいのか、もう少し書き振りに変化が 必要である( )	審議会意見候補		
18	同上	実施計画が細かくなり過ぎているので、計画 の全体像が見えなくなっている( )	個人的意見等		





## 【第1部】基本構想原案に対する審議会意見一覧（案）

### 第1部 - 第2章 - 5「地域資源」について（9～10ページ）

通し番号	記載箇所 (ページ、行番号等)	意見	分類案	備考	結果
25	P9「水と緑の豊かな自然」	加茂地域にはヒメホタルの生息地があり、非常にめずらしいので、水と緑と昆虫 生物多様性の視点で記述を入れるべき( )	個人的意見等		
26	P10「活発な市民活動」	大阪府では中学校区単位で取り組まれていたりしており、市と小学校区での連携の強化が必要である。学校は教育関係であって、小学校区は地域ベースである( )	個人的意見等		
27	同上	小学校区数は14、コミュニティ数は13。1番目にはじめたのは多田小学校区であり、この点は重視されるべきである。コミュニティ同士の連携はあり、文化的スポーツ的な連携を毎年行っている。小学校区どうしの連携はあるか( )	個人的意見等		
28	同上	総合計画は10年間変わらないのが前提であり、ここは地域資源のところなので、14とか13とか数字を入れない方がよいと思う。ほぼすべての小学校区での意味が伝わればよい。後で直すのもどうかと思う( )	個人的意見等	上記と対立意見	
29	P9「古の浪漫と文化の彩」10行目	みつなかホールはできて16年経っている。音響効果が良く、川西の特色として、教育と文化にスポットライトを当ててもよいのではないかと。実際に近隣の演奏家が来て演奏しており、文化をアピールする文言を入れ、市民としてのアイデンティティの表現として入れるべき( )	審議会意見候補		
30	同上	みつなかホールは交通の便も良いにもかかわらず、市民が利用していない。まずもって、みつなかホール自体を知らない状況である( )	個人的意見等		
31	同上	川西市民が対象で、広い意味で文化活動をとらえていけばよいのではないかと。文化活動は広い地域で展開されている( )	個人的意見等		
32	P9、P10	人口が16万人いることをポテンシャルとして掲げる。活発な市民活動の可能性があり、住宅団地の特徴としてとらえることができる( )	個人的意見等		
33	同上	レフネックの授業は高い評価を得ている。川西のレベルの高さで、評価を載せていくべき( )	個人的意見等		
34	P10「特色ある産業活動」	農業の中でイチジクについては指摘があるが、クリやその他の農業についても一定の特産物があるため、農業も地域資源として書き込むべき( )	個人的意見等	原案に一定の記載はある。	
35	P10「活発な市民活動」	市域に38あるNPO法人やボランティア活動の活発化など、多様性についても言及するべき( )	審議会意見候補		
36	P9、P10	地勢的な特徴からみた地域資源、地域の多様性についても書くべきで、どのような豊かな人材がいるかということについても地域資源として書くべき( )	審議会意見候補		
37	同上	施策につながる資源を列挙すべき( )	個人的意見等		





## 【第1部】基本構想原案に対する審議会意見一覧（案）

### 第1部 - 第3章 - 2「川西市民の実感と意識」について（13～18ページ）

通し番号	記載箇所 (ページ、行番号等)	意見	分類案	備考	結果
39	P14	産業、文化は大切であり、アンケートとの結果とは異なる部分なので、反映すべきではない( )	個人的意見等		
40	P14 満足度及び重要度の表	施策の21、22、23が計画の柱部分であるが、産業、観光の振興の意識レベルが低い。下のほうにある項目も大切である。参画と協働のコメントが必要である( )	個人的意見等	市平均より低いからと言って重要度が低いわけではないという説明等を追加する必要がある	
41	同上	現状とのギャップを議論するための審議会であり、現状をどう今後につなげていくか、現状からどうしていくか、を示すことが大切である。中学生の意見も大切である( )	個人的意見等	同上	
42	同上	施策の22、23はなぜ低いのか、むしろ高くしていくべき( )	個人的意見等	同上	
43	同上	学校が地域で生きていけない状況がある。トライやるウィーク等も取り組んではいるが、地域と学校とが交わる機会を増やし、学校と地域の協働の視点で、学校の存在を大きくしていくことが大切である( )	個人的意見等		
44	同上	認知症のサポート等、福祉とのつながりは持ちつつある。地域、学校、福祉とのつながりを、地域資源で扱うべきかどうか( )	個人的意見等		
45	同上	地縁や志縁を子どもたちで考え、それらを子ども達でつくっていく事が大切である( )	個人的意見等		
46	P16 5行目	社会動態については、ある程度幅をみているのか( )	個人的意見等		
47	P16	人口対策についての施策を入れるかどうか( )	個人的意見等		
48	同上	2つの推計方法から選択しているが、はじめの段階から方法を決めて推計するのは難しい( )	個人的意見等		
49	同上	都市間競争の中で、現実として人口を増やせるのか( )	個人的意見等		
50	同上	交流人口の増加を図ることが言いたいのかどうか( )	個人的意見等		
51	P13	アンケートの特徴、例えば、年齢構成等の属性が市の形を反映しているのであれば、それを書くべき( )	個人的意見等	アンケートの属性については既に事務局から回答済	
52	P14 分類表	図がやや見づらい。中心に固まっているので、スケールを調整する必要がある( )	審議会意見候補		
53	同上	そうすると差を大きく見せてしまうことになるのではないかと、市平均2.27が満足度として高いのか、低いのかという問題があるため、他市との比較をするべき( )	審議会意見候補	上記と対立意見	
54	同上	説明なく「重点課題」「継続推進」「課題」「要検討」が出されているため、4象限をどのように位置づけているのかなど、データの読み方や留意事項等が必要である( )	審議会意見候補		
55	P16	「将来人口」でコーホート分析が出ているが、人口がプラスであり減らない場合も、マイナス推計もあってよいのではないかと、社会増があまり書かれていないことはデータとして妥当なのか、もう少し追記が必要である( )	個人的意見等		
56	P17、18	「地域力の分析」については、基本的にプラス評価が書かれているが、問題はないのか、マイナス評価も必要ではないかと( )	個人的意見等		

## 【第1部】基本構想原案に対する審議会意見一覧（案）

### 第1部 - 第3章 - 3 「川西市民の「幸せ」の実感と意識」について（19～22ページ）

通し番号	記載箇所 (ページ、行番号等)	意見	分類案	備考	結果
57	P19、P20	悪く言えば自分と家族が良ければ良いという印象を受ける。P18の意識とP19のグラフと合っていない印象を受ける。地域の課題に関する関心が高いことは驚いている( )	個人的意見等	(事務局) アンケートの設計に問題があり説明を加える。関心はあるというコメントを付け加える。	
58	同上	川西市民の民度を変えていくべき。コミュニティや文化なども重要な視点として記述するべき。現状をどうするかという提案をすることはできるので、指摘はしておくべき( )	保留	民度とは？	
59	P21 1行目	ここで、ライフテーマに分類している表現が唐突に出てくる( )	個人的意見等	(事務局) P29との関連性を記述している。P21では、市民目線にあった体系で比較できるように表している。	
60	P21、P22	図と文章が合っていないように見える。例えば暮らしの3.20(10・20代)と3.05(30～50代)にグラフでは差があるのか。また、サンプルの母集団はどこにあるのか( )	審議会意見候補		
61	同上	グラフから分析結果の記述が出てくるのか。また、比較する対象を考えるべき( )	審議会意見候補		
62	同上	住宅都市がいつまでもそのままあるわけではない。育つ、学ぶだけがテーマではない( )	個人的意見等		
63	同上	自然、歴史が反映されていないのが問題である( )	個人的意見等		
64	P19～P22	市内在勤者にアンケートをとらないのは好ましくない。中学生への質問でこれで妥当だが、市内在住のためそこまでの必要はない。人口移動のデータは、市民意識を反映する大きな要素である( )	個人的意見等		
65	同上	人口移動のデータが必要である( )	個人的意見等		
66	同上	他市からの転入者の10年後のライフスタイルを記述すべきであり、それにはビジネスモデル的な要素があるべき( )	個人的意見等		
67	P19、P20	「『幸せ』の実感と意識」辺りから全体とも関わってくるが、子育てや教育の要素は、特に定住人口の考え方にとって重要なので、今は平均的に並べて表現されているが、ここでの言及が必要である( )	個人的意見等		
68	同上	具体的にどのような施策が必要かは今後の分析であるが、子育て施策の重要性がここでも指摘されるべき( )	個人的意見等		
69	同上	P20の表の中でも、教育文化の満足度の順位がやや低く出ていることも指摘して、今後の施策をどうするべきかというビジョンにつなげるべき( )	個人的意見等		
70	P21 グラフ	世代で一つのレーダーチャートにして、その世代の人があるか、ないかを見せるべき( )	審議会意見候補		
71	同上	地域別で違いがあるのではないかと。年代別のレーダーチャートと地域別のレーダーチャートによってそれぞれの違いの有無を見せるべき( )	審議会意見候補		
72	同上	個別の施策については、例えば、土地の問題や病院の充実の問題等が出されたが、それ以外については今後も検討していくべき( )	個人的意見等		